

SHIP通信

県立麻生養護学校
支援連携グループ
No.1
令和3年7月 発行

地域支援センターSHIPです！



SHIP通信は、主に『地域支援センターSHIP』の事業に関するお知らせを掲載しています。
『地域支援センターSHIP』は、麻生養護学校の「相談・地域連携担当(教育相談コーディネーター、自立活動教諭)」「移行支援担当」の教員で構成されています。
特別支援学校の専門性を生かし、さまざまな事業を通して地域の子ども、保護者、先生方を支援します。子どもたちが安心して自分らしくいきいきと過ごせるようにサポートしていきます。

★「SHIP」の名称の由来★

笑顔(Smile)希望(Hope)関わり(Interaction)を、支援の必要な子どもたちへ(For People with special needs)という思いを込めています。子どもたちが自信をもって社会の大海原へ出て行くことができるように支援します。

相談・地域連携担当から



教育相談

校内の教育相談コーディネーターと自立活動教諭が窓口となり、子どもたちの教育的ニーズに応じて校内や地域の支援機関と連携した様々なサポートを行います。

《教育的ニーズとは》

子どもたちは、「授業が分からない」「みんなが自分のことを分かってくれない」等様々な悩みや課題を抱えるとともに、その解決に向けて自分自身の力で何とかしようと努力しています。このような子どもたち一人ひとりの持つ独自の課題が、その子どもの「教育的ニーズ」です。

学校教育では、こうした子どもたちの努力について、直接間接を問わず、その子どもたちに合った方法で働きかけをしていくことが必要です。

令和3年3月 神奈川県総合教育センター発行

「支援を必要とする児童・生徒の教育のために～教育相談コーディネーターとチームづくり～」より抜粋

保護者相談

校内および地域の保護者の方の相談に応じます。必要に応じて支援機関の情報提供等も行います。

地域の学校への支援

子どもたちが主体性を持って活動に参加できるように、先生方と一緒に考えます。各校の教育相談コーディネーターの先生を通じて御連絡ください。



麻生養護学校

電話番号:044-980-4850

<今年度のメンバー>

○教育相談コーディネーター 山本 里紗 ・ 金子 麻衣子

○自立活動教諭 【理学療法士】 森田千佳子 【作業療法士】 芝崎 律子

【理学療法士とは?】

幼児・児童・生徒の姿勢・動作等の身体に関する支援を行います。

【作業療法士とは?】

幼児・児童・生徒の学習や生活、遊び等の様々な活動に関する支援を行います。

地域との連携・ネットワークづくり

学校と地域の連携窓口のひとつとして、福祉機関や医療機関と連携しています。また、次のような役割も担っています。



○公開講座・研修会の実施

教職員、保護者、関係機関職員を対象に、特別支援教育に関する研修会を実施しています。

※今年度の実施につきましては、決定次第学校HPや配付チラシ等でお知らせします。

○協議会等への参加

自立支援協議会等、地域の協議会や連絡会に参加して関係機関との連携やネットワークづくりをしています。

情報コーナーの紹介



本校1階昇降口前の図書コーナーに、福祉事業所のパンフレットや地域の広報誌を置いています。奥の壁側にある掲示板とラックは、特別支援教育に関する研修会やイベント等のお知らせ・チラシを掲示しています。

コロナ禍のため校内にお越しいただく機会が限られる中ですが、お越しの際にはぜひご覧ください。



移行支援担当から

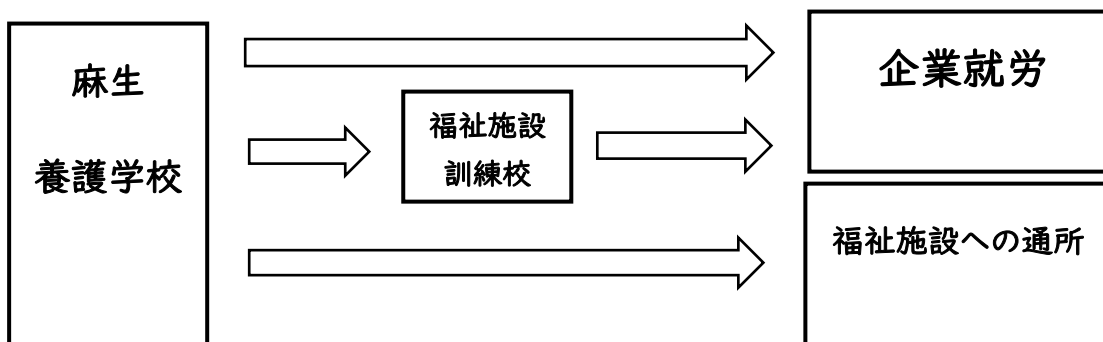


今年度は、本校堀井水香、大野裕、湊史友子、分教室池井麻央、大橋俊一が担当します。高等部の担任と協力し、生徒の進路学習や実習等を通して、社会人への移行支援を進めていくことが主な仕事です。

麻生養護学校には、川崎市在住の方と横浜市在住の方が在籍していますので、それぞれの行政の状況や情報を丁寧に伝えることを心がけています。麻生養護学校のある地域(川崎市北部、横浜市北部)は市内の他の地域と比べても新規事業所が少なく、また既存の事業所も定員を満たしているところが多い地域であるため、進路決定が厳しい状況が続いております。そのような状況ではありますが、R2年度の卒業生は、全員卒業式前に進路先が決定しております。今後も、生徒本人の実態に合わせた進路選択ができるよう、施設の採用担当者や区役所のケースワーカーなどと連携し、保護者、担任と相談して進めていきます。

麻生養護学校の卒業生の進路先は、大きく分けて2つあります。1つが「企業就労」。2つ目が「福祉施設への通所」です。本校の卒業生は「福祉施設への通所」が多く、分教室は年度によりますが4割から5割ほどが「企業就労」、残りが「福祉施設への通所」となっています。(※大学や専門学校への進学やそれ以外の進路の可能性もありますが、ここでは主な進路として2つを書かせていただきます)

企業就労の場合も、卒業後にすぐ就労する場合や、福祉施設(就労移行)・能力開発校などの訓練校を経て就労する場合など、いくつかのパターンがあります。まずは見学会などに参加し、企業や福祉施設の様子を知ることから始めましょう。



プチ情報

◆預金通帳について◆

卒業後、企業就労し、給料が振り込まれる方や、20歳から支給される障害基礎年金(申請をする必要があります)の振り込み用に、本人名義の預金通帳が必要となります。現在20歳から18歳に成人が引き下げられたことにより、18歳を過ぎると、本人による作成が基本となり、保護者の方が代理で預金通帳を作成することが簡単でできなくなるとのことです。R4年の4月より、18歳以降の成人が預金通帳を作る場合、成年後見人などをつける必要が出てくるなど、複雑な手続きが必要となることが予想されます。預金通帳の作成を検討されている方は、18歳の誕生日よりも前に本人名義の預金通帳を作ることをお勧めします。

NEW スヌーズレンルームついに完成♥



アクセスのよいところに NEW スヌーズレンルームがオープンしました。

光をじっと見つめる、ビーズクッションでポーっとする、マットレスでゴロゴロする・・・

そんなリラックススペースとして活用していただくだけでなく、光の学習などにもご活用ください!!

